

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の講習会後のアンケート用紙をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 医療安全講習会受講後アンケートによる医療事故後のサポートに関する職員の意識調査</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院職員を対象に行った平成 30 年度第 1 回医療安全講習会の受講後アンケートへの回答者</p> <p>●研究の目的 医療事故等、患者に予期せぬ有害事象が発生した際に、それに携わった医療従事者は抑うつ、不安、バーンアウト等のリスクがあり、早期から心理的サポートが必要であることが指摘されています。米国を中心に医療機関における組織的サポート体制の構築、特に、医療従事者相互にサポートするピアサポートプログラムの導入が始まっています。本邦において、大学病院の職員による、サポート体制の必要性の認識、現状でのサポートの有無、またサポートを要した経験の有無について、十分なデータがない状況です。今回、医療安全講習会受講者の受講後アンケートの結果を用いて、一大学病院における職員の「医療事故後のサポート」に関する意識を明らかにすることを目的としています。</p> <p>●研究の期間 2019年3月から2022年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では、外部へ情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の</p>	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：医療安全講習会受講者の受講後アンケート</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

項目	
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究機関はございません。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 浜松医科大学 医学部地域家庭医療学講座 特任教授 井上 真智子
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの情報を研究に使用することを望まない場合においても、アンケートは無記名のため、個人を特定できないことから対応することができません。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部 講座：地域家庭医療学講座 担当者：井上 真智子

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	TEL : 053-435-2416 E-mail : machiko@hama-med.ac.jp
--	---